

冬の足音とともに

校長 濱渦 孝治

秋の気配を感じる間もなく、暑かった日々から急激に冬が到来してきました。17時を過ぎる頃、椎津の山は真っ暗になります。まもなく12月（師走）となり年末を迎え益々忙しくなりますが、今年度の教育活動を振り返り、まとめる季節となりました。11月1日（金）には第2回の学校運営連絡協議会が開催されました。11月29日（金）を締切として、全児童・生徒、保護者、両施設職員、教職員、外部専門員の皆様に学校評価アンケートを実施させていただきました。ご協力いただき大変感謝いたします。アンケートの結果を丁寧に分析し、今後の学校運営に即時に活かすとともに、今後の分教室化を見据えた授業改善に還元してまいります。学校運営連絡協議会は学校の教育活動の強力な応援団です。学校運営連絡協議会では、学校経営計画に基づいた学校経営の進捗状況、令和7年度の分教室化後の地域連携等について、協議委員の皆様と情報共有、情報交換いたしました。また、会議の前には協議委員の皆様授業も参観していただき、授業や本校の取り組みに対して、評価をいただきました。

さて、本校では地域貢献活動の一環として、椎の木台自治会の皆様に来校いただき、本校の畑で収穫した野菜等の配布会を実施しています。今年度は7月3日（水）の第一回に続き、11月13日（水）に実施いたしました。本来であれば旬であるさつまいもをお配りする予定でしたが、植え付け当初に野生動物（おそらく猪）による被害があり、ご準備ができませんでした。代替として、乾燥させたポップコーンの豆と、作業学習で製作した作品を詰め合わせた「特製袋」をお配りしました。この配布会に向けて、畑での収穫と袋詰め、引換券の作成と自治会館へのお届け、看板製作など、全校児童・生徒で準備を進めました。椎の木台自治会の会長様には、回覧板や自治会館掲示板で近隣の皆様へ周知いただくとともに、事前に自治会館で引換券の配布をしていただきました。当日は、引換券を受け取ったり、特製袋をお渡ししたりし、来場いただいた方から温かい言葉をかけていただき、児童・生徒と地域の方々の交流が生まれ、和やかな時間となりました。

また、11月7日、14日、21日の3日に分けて、椎の木台自治会から11名の方にお越しいただき、本校の作業学習で行っている授業の様子を見学していただくとともに、生徒と一緒に紙漉きをしたり、折り紙を一緒に折ったりしました。分教室化に伴い学校規模は縮小しますが、地域の皆様に愛され、そのお力をお借りすることで、活気あふれる学校となるよう今後も交流を行ってまいります。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト～荒馬座～

11月6日（水）に、荒馬座の皆さんをお招きしました。5年連続の交流となり、荒馬座の皆さんも来校を楽しみにしてくださっていました。近隣のふじ幼稚園年長組の友達もお誘いし、賑やかな開催となりました。

第1部では、昨年大人気だった獅子舞から始まりました。今年は2頭の獅子が現れ、生きているかのような動きに、ちょっと怖くなっている生徒がいたり、はたまた獅子の口の中に手を入れて楽しんでいる児童がいたり、それぞれの関わり方がとても興味深かったです。じっくり獅子と交わることができて、みんなに福が来ること間違いなしです。また、『かがやけ囃子』では、リズムに言葉をつけた「トマト ブロッコリー カツドン カツドン カツドンドン」の掛け声に合わせて、太鼓を思い切り叩いて響きを楽しんでいました。

第2部では、福祉園生を中心に、『ぶちあわせ太鼓』の模範演技を見た後、格好良く太鼓を叩くコツを教わりました。その後の音楽の授業で、習ったことを生かして迫力ある演技にしようと、生徒が頑張っています。

プロの皆さんの演技・演奏に触れ、日本の伝統文化の楽しさを存分に味わい、日本の良さを感じることができました。（文責：森 澄美子）



12月の予定

1	日	
2	月	避難訓練
3	火	身体計測 (小学部)
4	水	身体計測 (中学部) 高等部校内実習
5	木	高等部校内実習 歯科保健指導
6	金	高等部校内実習
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	檜の実特別支援学校との交流 (高等部)
12	木	身体計測 (高等部) 短縮授業日 (13:50 下校)
13	金	身体計測 (高等部)
14	土	
15	日	
16	月	笑顔と学びのプロジェクト
17	火	
18	水	しいの木集会 車いすバスケットボール交流
19	木	
20	金	第二期現場実習終
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	終業式
26	木	冬季休業始
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

小学部

11月13日(水)に、第2回目の地域貢献活動がありました。小学部の児童も、エプロンをつけて張り切って参加しました。

今回は、「ご挨拶を頑張ろう」のテーマの下、VOCAという、押すと録音した声が再生される機械を使い、「いらっしゃいませ」と「ありがとうございました」の言葉をお伝えしました。子供たちがたくさん VOCA を押して声が響き渡り、会場が活気づきました。お客様から引換券を受け取ったり、品物を渡したりすることに子供たちは見通しをもって取り組めており、お客様も微笑ましくその様子を見守ってくださり、椎の木台の皆様との交流が深まってきたことを感じました。恥ずかしがり屋の児童が、最後に生の声で「ありがとうございました」と伝えて嬉しそうにしていた姿も印象的でした。(文責：森 澄美子)



中学部

11月7日(木)8日(金)に、中学部3年生は修学旅行で「東京ディズニーランド」に行ってきました。さわやかな秋晴れの中、アトラクションやキャラクターとの記念撮影、食事など、普段とは違う場所で存分に楽しむことができました。

また、11月22日(金)に、中学部1・2年生は校外学習で「こどもの国キッズダム」に行ってきました。「トレイン」など3つのアトラクションを体験しました。食事を楽しむ様子や「ゴーカートが良かった」と楽しかった感想を生徒から聞くことができました。

中学部では安心感や期待感をもって校外で過ごせるように時間をかけて事前学習を行っています。校外での活動は普段の生活よりもより緊張し、危険も伴います。保護者の皆様のご意見を参考に、今後も安心して校外での活動を楽しめるように努めてまいりますので、ご協力お願いいたします。(文責：山田 麻衣)

高等部

高等部では11月20日(水)に、しいの木祭実行委員長を決めるための投票を行いました。この実行委員長選挙は、主権者教育の学習も兼ねて、立候補者の届け出から選挙運動、そして投票までの流れを、実際の選挙になぞらえて模擬選挙の形で実施しています。各候補者の選挙ポスターも決められた場所に掲示します。選挙の取り組みで使われる言葉には、多少難しい文言もありますが、逆に硬い感じがリアルさを醸していました。選挙活動を通じて「最後のしいの木祭」を盛り上げようという一体感は高まっています。当選者は一人ですが、チームとしてそれぞれが自分のできる事で準備に関わり、2月のしいの木が大成功となるよう頑張っていきます。(文責：古山 武)